

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価

令和7年度

放課後等デイサービス ほつ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1		児童に必要な支援が届くようプログラム別に部屋を分け個別療育を行っている。そのためより手厚いサポートができる。
	②	職員の配置数は適切であるか	3	2	1	当日の状況に応じて工夫し対応している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	2		状況に応じた環境整備を行い、安全に利用できるよう配慮している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1		職員会議において「計画～改善」まで全職員で共有し進めている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			評価票や事業所の懇談会及び面談において、個々のニーズを把握し必要な支援ができるように繋げている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			事業所の入口及びホームページ内にて閲覧できるよう公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	2		外部評価は実施していないが法人内で事業報告を実施し業務改善を行っている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			月に一度は必ずOJTやOffJTを活用し、研修の機会を確保している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析にしたうえで、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			定期的な面談により、児童の成長に合わせた具体的な支援計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1		障害の程度や支援ニーズを明確化し、個々に合わせた支援ができるよう同じツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			全スタッフの意見を反映させたプログラムを作成している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			常に情報収集を怠ることなく、児童に合わせた効果的なプログラムを用意している。
	⑬	平日、休日長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			それぞれのタイミングに合わせ、個別支援計画に沿った内容を実施している。また一年間の成長目標から細かく設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			社会的適応ができるよう、個々に目標を設定しており、高学年からは「就労」を視野にいれた計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			毎日スタッフ間で支援のズレがないよう確認しスムーズな受け入れができるよう準備している。

関係機関や保護者との連携	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			些細な点も必ずスタッフ間で共有しています。また支援の振り返りを行うことにより質の向上に努めています。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			日々の記録の確認や情報を共有することにより、次回の支援に活かしています。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			スタッフ間での情報共有や保護者様との面談をつうじて、現在の状態を確認しプランに反映させています。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	6			基本は忠実に守り、また利用者のニーズに沿った活動を組み合わせて支援している。
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			児童発達支援管理責任者が出席している。また内容については全職員へフィードバックし情報を共有している。
	㉑ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	1		主に連絡協議会を通じて情報共有を行っている。学校からの情報にズレが合ったため、必要に応じて直接先生方との確認等も行っている。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	1		医療従事者の配置がないため、医療的ケアが必要な利用者の受け入れは難しい。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	1		保護者様及び計画相談担当者からの情報以外に、必要と判断した場合には問い合わせをし情報をいただいている。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6			必要に応じて適宜対応している。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			積極的に外部研修の参加や他専門職との連携に努めています。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4		2	屋外での活動では同じ空間にいることはあるが交流とまでは言えない。
	㉗ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3	2	1	機会があれば参加したいと考えている。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			日頃より積極的にコミュニケーションを図っている。また定期的に個別面談を行い状況の整理や今後の方針等について話し合っている。
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	2		面談時において適切な対応方法等と一緒に考え適宜アドバイスを行っている。
	㉚ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			契約時及び改定等の変更がある場合など適宜説明を行っている。
	㉛ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			面談時や普段においても事業所から積極的に悩み等をお聞きしたり、児童の状況に応じて必要と思われる方に都度面談を実施している。

保護者への説明責任等	③② 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6			定期的に保護者会を開催し、情報交換や繋がりや交流を深められるよう支援している。
	③③ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			契約時に漏れがないよう説明を行っている。事案発生時には早急に対応できる体制も整えている。第一に信頼関係の構築に努めています。
	③④ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1		毎月お便りを発行し、活動状況や事業に係る内容などを皆様に配布をしている。
	③⑤ 個人情報に十分注意しているか	6			取り扱いには十分注意し、書類等については施錠できる鉄庫にて保管をしている。
	③⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			視覚的にわかりやすく掲示したり、重要度に応じて都度確認を行っている。
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2	1	事業所の情報をできるだけ開示できるよう、定期的に説明会を開催している。
	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6			定期的な研修により職員に周知確認を行っている。また保護者様にも適宜説明を行っている。
非常時等の対応	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			年2回防災訓練を行っている。またBCPを策定し内容に準じた訓練も行っている。
	③⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			OJT及びOffJTにより定期的に研修の機会を設けている。
	③⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			定期的に保護者様に説明を行っている。また計画書にも記載し同意を得ている。
	③⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1		保護者様からの指示に従い対応している。
	③⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			情報の共有及び再発防止に対する事例検討を事業所内で行っている。